

令和5年度 第6回

病院経営戦略会議報告

日時 令和5年6月20日（火） 13時00分～13時40分
場所 3階講堂会議室1・2
出席者 堀之内院長 小山副院長 増田副院長 朝見副院長 安西看護部長
堀越病院経営部長 高橋病院総務課長 三上病院施設管理課長
富田病院財務課長 増田医事課長 鈴木情報管理室長
田中患者支援センター副所長
事務局 坂口病院総務課課長補佐

内 容

◎高橋病院総務課長

【報告事項】

（時間外勤務の状況（R5.5月実績）について）

- ・医師の平均は58時間で前月から4時間増、80時間超えは20名で前月から4名増。
- ・歯科医師の平均は58時間で前月から4時間減。
- ・専攻医の平均は79時間で前月から10時間増、80時間超えは23名で、前月から10名増。歯科専攻医は58時間で、前月から3時間増。
- ・臨床研修医の平均は62時間で前月から7時間増で、80時間越えが5名で、前月から3名増。
- ・医師はゴールデンウィーク対応で5月の時間外勤務が増加した。
- ・コメディカルの平均は26時間で前月から1時間増。
- ・看護部の平均は前月同様8時間。
- ・事務の平均は33時間で前月から9時間減。

◎三上病院施設管理課長

【協議事項】

（院内での撮影（写真・動画）録音に対する対応について）

- ・院内で撮影等が行われる事例が最近見受けられるが、それに対応した当院の取り決め等がはっきりしない状況にあるのでどう対応したらよいのかと看護部より相談があった。
- ・他市病院の院内撮影等への対応状況を調査し、当院では院内での撮影・録音につ

いては、個人情報保護・プライバシーを保護する目的及び院内秩序維持上の観点から原則として禁止とし、撮影・録音が必要な場合は事前に申し出が必要、当院の指示に従わない場合は、病院から退去させることを明記し、周知していきたいと考えているので協議をお願いしたい。

→ 本案をベースとして整理を行い、顧問弁護士とも相談したうえで速やかに周知すること。(堀之内院長)

◎富田病院財務課長

【報告事項】

(令和4年度病院事業会計決算の提出について)

- ・ 令和4年度病院事業会計決算について6月中に市長等へ報告し、7月上旬に監査事務局による決算審査を受審する。

(第3次中期経営計画改定版骨子案の議会報告について)

- ・ 第3次中期経営計画改定版骨子案について6月16日の保健福祉委員会で報告を行った。
- ・ 今後は12月議会で第3次中期経営計画改定版素案を報告することを予定している。

【協議事項】

(第3次中期経営計画令和4年度アクションプランに係る病院評価について)

- ・ 第3次中期経営計画令和4年度アクションプランに係る病院評価の評価方法を第2次計画における評価方法から変更することについて協議をお願いする。
- ・ 第2次計画の評価方法では、評価分類が多く評価結果が把握しにくいとの意見があった。このことから、評価方法を達成率という数値のみで評価を行う方法に変更し、進捗状況を把握しやすくするとともに、市の最上位計画である総合振興計画の評価方法に準じるようにするもの。
- ・ この評価方法に基づき第3次中期経営計画令和4年度アクションプランについて評価すると、各項目の評価は「順調」若しくは「おおむね順調」となった。
- ・ 今回の評価方法の変更について承認いただけたら、提示した評価方法で評価した結果を経営評価委員会へ提出することとなる。
 - 評価項目について他病院との比較は可能なのか。(増田副院長)
 - 当院の計画における施策をもとに評価項目を設定しており、単純に比較することは難しい項目が多くなっているが、比較可能なものもある。(病院財務課長)

→ 評価方法の変更について承認する。(堀之内院長)

◎鈴木情報管理室長

【報告事項】

(職員用情報端末の無線 LAN アクセスポイント設置について)

- ・職員用情報端末の無線 LAN アクセスポイントを院内に設置することを本庁デジタル改革推進部と検討を行っていたが、アッセンブリーホールに設置する方向で話が進んでいる。予定では年度内には設置が完了する見込みである。

◎田中患者支援センター一副所長

【報告事項】

(地域連携訪問活動実績報告(5月分)について)

- ・5月に実施した地域連携訪問活動の実績は、病診連携のみ6件の訪問であった。
→ 当院への紹介患者を増やすためには、地域連携訪問活動は重要であると考えており積極的に取り組んでいただきたい。(堀之内院長)

◎堀之内院長

- ・新型コロナウイルス感染症病床確保補助金は6月末までとなっている。当院として重症床は縮小して、8B病棟10床で患者さんを受け入れていこうと考えている。今後の見通しは立たないが、当院としてできることをやっていきたいと考えている。
- ・新型コロナウイルス感染症の患者数の増加に伴い、院内でも新型コロナウイルス感染症陽性者が発生している。マスク等を着用することは感染症対策として有効であり、当面は現行の対応を継続していきたいと考えている。

◎青木保健衛生局理事

- ・5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し6週間程度経過したが、本市の状況は定点報告での報告になるが、感染者の報告数が2倍程度となっている。これは、本市だけではなく県内も同様の傾向となっている。今後の動向について注視をしていく必要がある。